

式と計算の順じょ

| まい目 きそ | 知識・技能のたしかめ 答え

1 2 3 4 めやす 10分

1 計算しましょう。

(1) $20 - 4 \times 3$

8

(2) $(20 - 4) \times 3$

48

(3) $12 + 18 \div 6$

15

(4) $(12 + 18) \div 6$

5

2 計算しましょう。

(1) $6 \times 4 - 8 \div 2$

20

(2) $5 + 3 \times (10 - 6)$

17

(3) $48 \div (2 \times 3)$

8

(4) $7 \times (12 - 5) + 4$

53

3 □にあてはまる数を書きましょう。

(1) $35 + \square = 80$

45

(2) $\square - 24 = 16$

40

(3) $6 \times \square = 72$

12

(4) $\square \div 5 = 9$

45

4 計算のきまりを使います。①～③にあてはまる数を書きましょう。

 $(20 + 4) \times 5$ は、 $20 \times \textcircled{①} + 4 \times \textcircled{②}$ と計算しても答えは同じで、 $\textcircled{③}$ になります。

① 5

② 5

③ 120

5 計算の順じょをまとめます。①・②にあてはまることばを書きましょう。

式はふつう左から順に計算します。ただし①があるときはその中を先に、+-と×÷がまじっているときは②を先に計算します。

① ()

② ×÷

考え方

大問1 () がいなければ×÷が先。 $20 - 4 \times 3$ は $4 \times 3 = 12$ を先に計算して $20 - 12 = 8$ 。大問3 $35 + \square = 80$ は $80 - 35 = 45$ 。 $\square \div 5 = 9$ は $9 \times 5 = 45$ とまとめます。大問4 $(20 + 4) \times 5 = 24 \times 5 = 120$ 。 $20 \times 5 + 4 \times 5 = 100 + 20 = 120$ で同じです。

式と計算の順じょ

2まい目 よみとる

資料から情報を読み取る

答え

1

2

3

4

めやす 10分

1 文ぼうぐのねだんを表にまとめました。次の資料^{しりょう}を見て答えましょう。[資料] 文ぼうぐのねだん^{しりょう}

品物	1こ（1さつ）のねだん
ノート	120円
えんぴつ	80円
けしゴム	60円

(1) ノート1さつとえんぴつ3本を買います。代金を求める式をア～ウから1つ選びましょう。

☒ ア $120+80\times 3$ ☐ イ $(120+80)\times 3$ ☐ ウ $120\times 3+80$

答え ア

(2) その代金は何円ですか。

360円

(3) $(120+80)\times 3$ という式は、どんな買い方を表していますか。ア～ウから1つ選びましょう。

ア ノート1さつとえんぴつ3本を買う

☒ イ ノート1さつとえんぴつ1本のセットを3組買う

ウ ノート3さつとえんぴつ1本を買う

答え イ

2 けしゴム2ことノート1さつを買って、500円を出します。

(1) 代金を求める式を書きましょう。

 $60\times 2+120$

(2) 代金は何円ですか。

240円

(3) おつりは何円ですか。

260円

考え方

大問1 (1) えんぴつ3本分は 80×3 。ノート1さつはそのままたすので $120+80\times 3=360$ 。

大問1 (3) () を先に計算するので、 $120+80=200$ が1組分。それが3組で $(120+80)\times 3$ 。

大問2 $60\times 2+120=240$ 。おつりは $500-240=260$ 円です。

式と計算の順じょ

3まい目 **かんがえる** | 筋道を立てて考える **答え**

1 2 3 4 めやす 15分

1 お楽しみ会で、1人分におかし70円とジュース30円を用意します。28人分の代金を考えます。

あおい おかしの代金とジュースの代金を分けて、 $70 \times 28 + 30 \times 28$ で計算すればいいね。

そうた 1人分をまとめてから28人分にしても、答えは同じになりそうだよ。

(1) ㉗～㉙にあてはまる数を書きましょう。

考え方のとちゅう

$70 \times 28 + 30 \times 28$ は、どちらも28をかけているので、 $(70 + 30) \times \text{㉗}$ とまとめられます。() の中を先に計算すると ㉘ になるので、28人分の代金は ㉙ 円です。

㉗ 28

㉘ 100

㉙ 2800

2 同じように、くふうして計算しましょう。

ヒント 同じ数をかけているところを、() でまとめてみよう。

(1) $16 \times 25 + 4 \times 25$

$(16 + 4) \times 25 = 500$

(2) 102×6

$(100 + 2) \times 6 = 612$

3 計算のきまりをふり返ります。㉚にあてはまる数を書きましょう。

$(20 + 5) \times 4$ は、 $20 \times 4 + 5 \times \text{㉚}$ と計算しても答えは同じになります。

㉚ 4

考え方

大問1 $70 \times 28 = 1960$ 、 $30 \times 28 = 840$ で合計2800円。 $(70 + 30) \times 28 = 100 \times 28 = 2800$ でも同じです。

大問2 $16 \times 25 + 4 \times 25 = (16 + 4) \times 25 = 20 \times 25 = 500$ 。 $102 \times 6 = (100 + 2) \times 6 = 600 + 12 = 612$ 。

式と計算の順じょ

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 りくさんは、 $12+8\times 3$ を計算しています。

りく 式は左から順に計算するから、 $12+8=20$ で、 $20\times 3=60$ だよ。

(1) りくさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア +と×がまじった式では、×を先に計算するから

イ +と×がまじった式では、()をつけてから計算するから

ウ $12+8\times 3$ は、 $12\times 8+3$ として計算するから

答え ア

(2) $12+8\times 3$ の正しい答えを、「計算の順じょ」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

計算の順じょ

計算の順じょでは、+と×÷がまじった式は×÷を先に計算する。だから $8\times 3=24$ を先に計算して、 $12+24=36$ になる。

(3) $15-6\div 3$

13

(4) $60\div (4+2)$

10

2 式のよみ方を考えます。①にあてはまる数を書きましょう。

$(80+20)\times 5$ という式は、80円と20円を合わせた1人分を①人分買ったときの代金を表しています。

① 5

考え方

大問1 () がなければ×÷が先。 $8\times 3=24$ を先に計算して $12+24=36$ です。大問2 () の中の $80+20=100$ が1人分。それを5人分なので×5と読みます。